

(1)評価基準に沿った評価	4人	2人	0人	0人	0人	4.7
(2)記述評価						
・コメディカルスタッフにアレルギーエデュケーターのグレードをベーシック、アドバンス、マスターにわけ、各々についての教育プログラムを作成した。すでにベーシックについてはe-learningを行っており、今後アドバンス、マスタークラスへの関与をすすめてゆく。 ・PAEの養成からアドバンス・マスターの養成プログラムへと着実に進展がみられる点は十分に評価できる。 ・PAEの養成に役立つ可能性が大きい研究と思われる。 ・PAEの育成は大変有意義である。それに向けてプログラムの作成などに尽力された点については評価したい。ただこの様なsystemが広く普及するためにはPAEの有資格者に何等かのメリットがないと難しいと思う。PAEを受け入れている施設にその点を依頼するとか、保険の点数に加算される様、厚労省に働きかけるとか、学会を通じて協力を依頼したら如何であろう。PAEのメリットが明らかになれば慢性疾患を取り扱う学会などにも普及し、Educatorを養成する様になり、日本の医療のレベルアップにつながると思うが如何であろう。 ・PAEの育成に取り組んだ極めて発展的な研究である。指導者が、その知識、技能を継続的に発揮できる環境、処遇に配慮することが、今後の課題と思う。 ・今後はPAEが職域に於いて職能/職階などの面での正式の評価を獲得できるための一層のバックアップ体制の構築が望まれる。 ・高校生は自分の判断や勉強が多忙で通院をやめてしまう学生が多いと思われるが、学校で生徒に接する保健体育の教師等を対象者として考えるのは難しいか検討してほしい。 ・順調に研究課題が遂行されており、各々の課題も明らかにされてそれに沿って進行している。このシステムを完成し世界の標準仕様にできないだろうか？ぜひ早期に国際的な雑誌に投稿してほしい。						

・アレルギー疾患の患者教育のためのエデュケーター養成を目標にこれまで一貫して努力を重ねてそれなりの成果を挙げて来たことは評価したい。ここで新しいe-ラーニングプログラムを開発することも重要であるが、同時に、まだ数は少ないかも知れないが、これまで育成したエデュケーターが、実際に臨床的・社会的にどのように役だっているのか、患者レベルから実証することが望まれる。それらを実証した上で、次のステップ即ち現在の医療制度の中でこのようなシステムを普遍化して活用するためには、どのような方法が可能かをよく検討して欲しい。